20　NPO 法人やまぼうし自然学校　　長野県上田市

環境保全・景観保全　教育機関との連携　高齢者の活躍

森　で　つ　な　が　る　い　の　ち　の　わ

活動の経緯

森林の荒廃と外遊びをしない子どもが多くなったことを憂い 1996 年に活動をスタート。森林インストラクターの有資格者たちが集まり、放置され荒れた森林の整備活動から開始。続いて森林インストラクター養成講座も始め、組織を支えるインタープリター会員を育成。「里山」の素晴らしさを後世に伝えるため「森林」に軸足を定め活動を特化。

活動の概要

「子どもたちを自然の中へ」キーワードは<森林>。森の手入れから始まった森林環境教育活動。

サマーキャンプの人気メニュー　森あそび

インタープリターとして活躍するシニア

活動の成果、主な実績等

〇1999 年から、学習旅行での森林環境教育プログラムを実施。コロナ禍以前は、年間延べ 20,000 人を受入れ、現在までに、50 を超えるプログラムを開発。

受け入れ数は、少子化等の影響も有り右肩上がりではないが、学校の教育目的や要望を丁寧にくみ取り、クオリティの高いプログラム提供ができるよう、継続的に精査・検証。また、地域の総合学習支援や子ども会行事、親子レクリエーションなど、出向いて実施する「環境教育プログラム」にも注力。

〇指導者の養成にも力を入れ、森林環境教育プログラムの指導者として、リタイアしたシニアの方の活躍の場を提供。登録インタープリター約 100 名中、50 歳以上が 85%を占める。プログラムを通じ、仲間との交流ややりがい、楽しみ、健康維持に貢献。